



羅針盤28

伊豆市立中伊豆中学校
進路だより 第28号
R2. 2. 25発行
進路担当 山崎

県教育委員会から、受検者への注意事項が示されているので掲載します。(受検者に関する部分を抜き出し、書き換えています。) 約束事や日程、持ち物など、しっかり確認してください。

受検者への注意事項等

静岡県教育委員会

1 学力検査等実施日程

学力検査等の日程については、別表「令和2年度学力検査等実施日程」のとおりであるが、学校独自選抜資料等の日程の詳細については、実施校・学科等により異なるので、別に配布する各実施校の「学校独自選抜資料の概要」を参照する。

2 受検者の携行品

(1) 一般選抜等

ア すべての実施校で必ず持参するもの

受検票、鉛筆（シャープペンシルも可）、消しゴム、三角定規（分度器機能のあるものを除く。）、コンパス、上履き、昼食

イ 持参してもよいもの

筆箱、鉛筆削り、時計（計算機能、辞書機能、データバンク機能、文書登録機能等のあるものを除く。なお、検査室に時計はない。）

ウ その他

学校独自選抜資料（裁量枠）に関する携行品については、実施校・学科等により異なるので、志願先高等学校の「学校独自選抜資料の概要」を必ず確認する。

(2) 再募集

ア すべての実施校で必ず持参するもの

受検票、鉛筆（シャープペンシルも可）、消しゴム、上履き

イ 持参してもよいもの

筆箱、鉛筆削り、時計（計算機能、辞書機能、データバンク機能、文書登録機能等のあるものを除く。なお、検査室に時計はない。）

注意

- ① 面接実施日には、三角定規、コンパスは必要ない。待ち時間に読むための書物を持参してもよい。昼食については会場高等学校の指示による。
- ② 昼食等検査室内へ持参できない持ち物は、付添人に預けておくか、会場高等学校の指示する場所に整頓しておく。
- ③ 英単語や漢字等が多くプリントされた筆箱やティッシュペーパー袋等、学力検査等の解答に役立つと考えられるものの持参は認めない。
- ④ 鉛筆又はシャープペンシルの芯は黒とし、色鉛筆や蛍光ペン等の持参は認めない。
- ⑤ 直定規の持参は認めない。
- ⑥ 時計は、時報等の音が発しないようにしておく。
- ⑦ 会場高等学校への携帯電話等の持込みは認めない。
- ⑧ 「入学者選抜実施当日の携行品」は、受検票と切り離しておく。検査室内に持参できない。再募集における「再募集実施当日の携行品」についても同様とする。

3 受検上の注意

(1) 学力検査、作文及び再募集における作文・小論文

- ア 不正行為や不正行為と疑われる行為は絶対に行わない。
- イ 「2 受検者の携行品」に示すもの以外のものを持ち込むことはできない。
- ウ 検査中の用便は、原則として認めない。ただし、体調等具合が悪くなった場合は、黙って手を挙げて監督者に知らせる。
- エ 筆記用具等の貸し借りは認めない。
- オ 監督者の指示に従って、用紙の種別（問題用紙、解答用紙等）、枚数を確かめる。
- カ 問題の内容についての質問は認めない。ただし、文字、図版等の不明瞭なものについては、監督者に申し出て説明を受けてもよい。この場合も直接発言せず、手を挙げて申し出て、監督者の指示を受ける。
- キ 解答用紙、作文用紙は、検査中他人に見えないように注意して扱う。
- ク 検査中は声を出さない。
- ケ 検査開始後30分が経過すれば、終了時刻前でも、解答し終わった者は退室してもよい。その際、解答用紙、作文用紙は机上に伏せて置き、問題用紙は必ず持って退室する。
- コ 検査終了後、解答用紙、作文用紙のみを回収するので、問題用紙は必ず持って退室する。

(2) 学校独自選抜資料（裁量枠）

- ア 実施高等学校の指示に従う。
- イ 実技検査受検者に対する注意
 - (ア) 運動を伴う実技検査を受検する者は、当日までの健康管理に十分留意するとともに、当日も、会場係員の指示に従って準備運動をするなど、けがの防止に努める。
 - (イ) 病気・けがなどの健康上の問題がある場合、運動を伴う実技検査は受けられない。
 - (ウ) 健康調査票（受検者の健康状態を把握する目的で行う。）の提出を求める実施高等学校においては、健康調査票を3月4日（水）に関係する受検者に配布する。健康調査票は、家庭で必要事項を記入し、3月5日（木）の受付時に受検者が提出する。

4 解答上の注意

- (1) 解答用紙、作文用紙の所定の欄に、受検番号、氏名を正しく記入する。
なお、受検番号は、横書きの場合は、例えば「3 1 0」、縦書きの場合は、例えば「111 | 〇」のように記入する。
- (2) 解答は明瞭に、濃く書く。
- (3) 書き直すときは、消しゴムでよく消して、はっきり書き直す。
- (4) 問題文をよく読み、それぞれ指示されている方法で解答する。また、問題用紙と解答用紙が別になっているので、特に、解答欄を誤らないよう注意する。

5 面接

- (1) 面接の日程等については、原則として別表「令和2年度学力検査等実施日程」のとおりであるが、学校・学科等により、面接日程が異なる場合があるので注意する。
- (2) 面接は、平素のありのままの態度で、伸び伸びとした気持ちで受ける。

6 追検査

一般選抜等において、病気その他やむを得ない理由により、面接又は学力検査の全部若しくは一部を受検できなかった者で、追検査を受検したい者は、志願先高等学校長に、3月5日（木）午後3時までに、「追検査受検願（様式第11号）」を、医師の診断書等の必要書類を添えて、中学校長を経由して提出し、その指示を受ける。

なお、学校独自選抜資料（裁量枠）の追検査は実施しない。

7 一般的注意

(1) 集合

- 会場高等学校までの往復においては、交通事故に十分注意する。
- 受付開始の、遅くとも10分前までに集合する。
- なお、遅刻した場合は、会場係員に連絡して、その指示を受ける。
- また、交通機関の事故等、不可抗力の理由による遅刻等の場合には、交通機関等の事務担当責任者から、その理由を証明するに足る証明書の発行を受け、会場高等学校長に提出する。

(2) 病気・事故等の場合

健康を害している場合は、病状等必要な事項をあらかじめ会場係員に申し出ておく。

なお、咳(せき)咳が出る場合にはマスクを着用することが望ましい。

検査中、発病その他の事故が生じた場合には、速やかに会場係員に連絡して指示又は処置を受ける。

(3) 受検票等を忘れた場合

受検票を再交付するので、受付に申し出て、その指示を受ける。

健康調査票（実技検査実施校において提出を求められた場合のみ）を忘れた場合には、受付に申し出て、その指示を受ける。

(4) 地震が発生した場合の対応

ア 地震の発生による遅刻、欠席については、学力検査及び面接においては追検査を受けることができるので、安全を第一に行動する。

イ 面接等の実施時間に遅刻した場合、会場高等学校において面接等の実施時間等をできるかぎり変更するので、安全を確認した上で、会場高等学校に行く。

ウ 受付終了後に地震が発生した場合は、会場高等学校の指示に従う。

エ 地震の発生に伴う津波警報のうち大津波警報が発令されている場合は、学力検査及び面接等は実施しない。その後の実施については、中学校を通して連絡する。

(5) 積雪等により交通手段が確保できない場合の対応

ア 積雪等により交通手段が確保できずに遅刻、欠席した場合は、学力検査及び面接においては追検査を受けることができるので、落ち着いて行動し、その状況を会場高等学校へ電話等で連絡する。

イ 面接等の実施時間に遅刻した場合も、会場高等学校において面接等の実施時間等をできるかぎり変更するので、交通手段が確保できた時点で会場高等学校に行く。

(6) インフルエンザ等により出席停止となっている場合や急に発症した場合の対応

インフルエンザ等により出席停止となっている場合には、原則として受検しない。

ただし、出席停止となっているが、本人及び保護者が受検に耐えられると判断し、受検可能との医師の診断を中学校長が確認した場合や、急にインフルエンザ等と同様の症状を発したが、本人及び保護者が受検に耐えられると判断し、中学校長が受検可能だと判断した場合は、中学校長を通して志願先高等学校長に「受検願（様式14）」を提出することができる（急に発症した場合、提出は後日でも可）。いずれの場合においても、志願先高等学校長が許可した場合に限り、別室にて受検することができる。

なお、医師又は志願先高等学校長のいずれかが受検を許可しない場合は、受検することはできない。

8 県立高等学校における入学者選抜に係る情報の提供及び開示

一般選抜等及び再募集における学力検査、作文、面接、学校独自選抜資料等の結果について、令和2年4月1日から4月30日までの期間（土曜日、日曜日及び祝日は除く。）において受検者本人に情報提供する。

提供を希望する受検者は、受検した県立高等学校に受検票又は合格通知書を提示し、請求願に必要事項を記載した上で、閲覧又は資料の交付により、請求した情報の提供を受ける。

なお、提供する時間は、原則として、午前9時から午後4時までの間で各高等学校が定めるものとする。

また、上記以外の期間及び調査書等その他の情報の開示については、静岡県情報公開条例及び静岡県個人情報保護条例に基づいて行う。

(別表)

令和2年度学力検査等実施日程

1 一般選抜・長期欠席生徒選抜の日程

月日	時刻	実施内容
3月4日(水)	8:30 8:40 8:50 9:05～ 9:55 10:10～11:00 11:15～12:05 12:55～13:45 14:00～14:50 15:00～	受付開始 注意伝達 検査室へ入室 解答上の注意 国語 数学 英語 社会 理科 面接カード記入(使用する学校のみ) 学校独自選抜資料(実施校の一部)
3月5日(木)	8:30 8:40 8:50 9:00～	受付開始 注意伝達 控室へ入室 面接・学校独自選抜資料 (学校独自選抜資料は実施校のみ) ※3月5日の日程は、志願者数等により変更する場合がある。

2 追検査

月日	時刻	実施内容
3月10日(火)	8:30 8:35 8:40～ 9:30 9:40～10:30 10:40～11:30 11:40～12:30 13:15～14:05 学力検査終了後	受付開始 注意伝達 国語 数学 英語 社会 理科 面接

3 再募集

月日	時刻	実施内容
3月23日(月)	8:30 8:40 9:00～9:50 作文又は小論文終了後	受付開始 注意伝達 作文又は小論文 面接

朝日新聞「折々のことば」から(2019.9.14)

悩まない人に本当の明るさというのはつかめないと思いますね。

三波春夫(歌手・浪曲師)

三波春夫は1964年の『東京五輪音頭』を歌った人です。いつも明るい笑顔でステージに立つ彼が、上の言葉を述べています。「折々のことば」の筆者、鷲田清一氏は「失意、挫折、転落。人は極限状況にあるときこそ、微弱な光にも敏感になる」「人の輝きは失ったものの大きさに比例する？」と考えます。

そういえば、昭和のヒット曲『贈る言葉』でも、「人は悲しみが多ほど 人には優しくなれるのだから」と歌っています。人生で、多くの苦難が待っていると思います。でも、そこで悩み、苦しみ、悲しみを体験した人こそ、真の明るさ、真の優しさを持つことができるのでしょう。